

問い合わせ先

第七管区海上保安本部

海洋情報部海洋調査課長 今木

093-321-2931 (内線 2530)



第七管区海上保安本部

平成27年8月27日

夏から秋にかけての高い潮位に注意！

夏から秋にかけては、1年のうちで最も潮位が高くなる時期となりますので、沿岸域での活動には注意しましょう。

特に、大潮期の満潮時に台風や低気圧が接近した場合、さらに潮位は高くなるため、沿岸域での冠水、岸壁に係留中の船舶、架橋下を通航する船舶は注意が必要です。

各地における夏から秋にかけての推算最高潮位の日時、潮位等は次のとおりです。

地域	日時	推算最高潮位	平均水面	平均水面との差
門司	8月31日 午前10時03分	257cm	130cm	127cm
博多	8月31日 午前10時35分	235cm	110cm	125cm
大分	9月29日 午前08時53分	253cm	130cm	123cm
佐世保	9月29日 午前08時56分	334cm	165cm	169cm
厳原	9月29日 午前09時33分	210cm	93cm	117cm

推算最高潮位及び平均水面は、最低水面からの高さです。

この高い潮位に関連します管内の代表的事故例は次のとおりです。

平成25年10月5日 五島

左舷付けで岸壁に係留していたが、係留索が長過ぎた事から、大潮の満潮時、岸壁近くまで潮位が達したため、船首(瀬渡し板)が岸壁に乗り、船尾側から浸水、その後転覆したもの。

平成26年10月12日 佐世保

所有者は台風接近に伴い、陸揚げしていた該船の船固めを行ったが、満潮と大潮の影響で思ったよりも潮位が上がり係留索ごと船体が流出したものの。

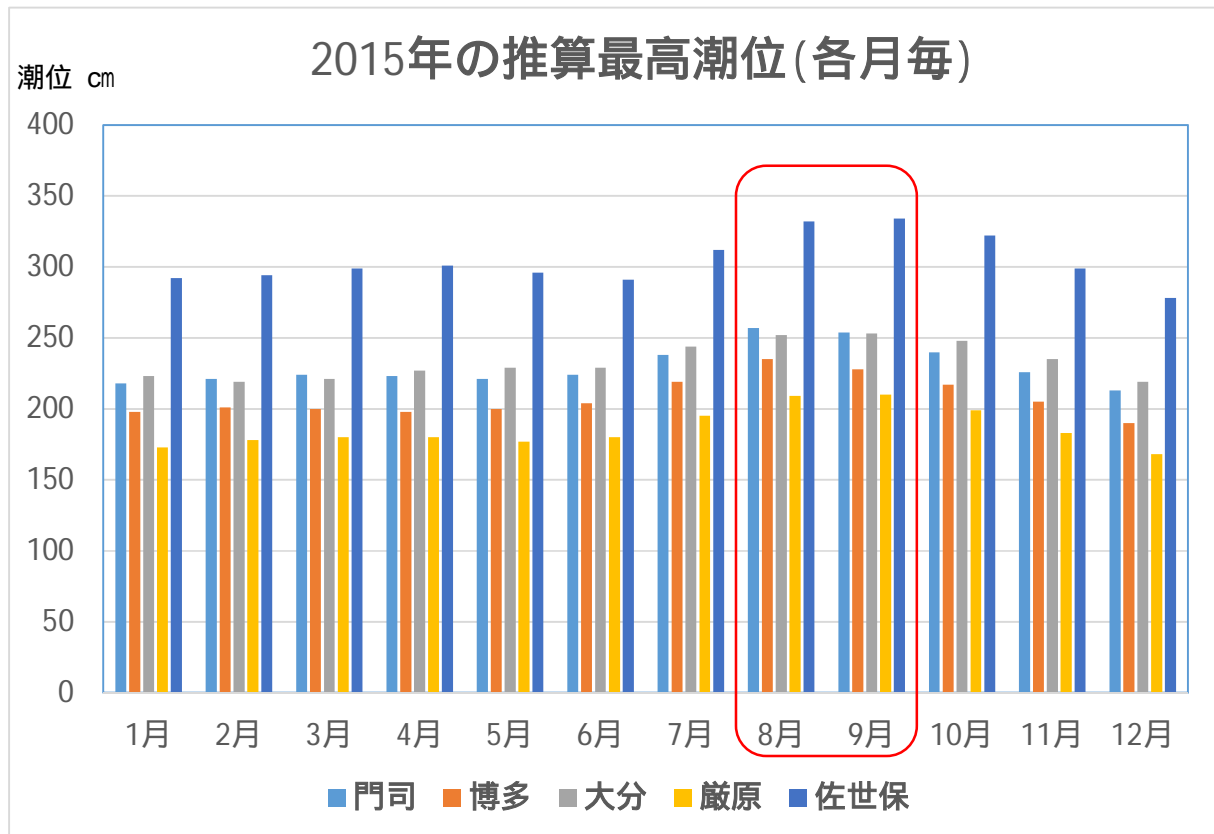
また、管内の所管験潮所(博多、大分、佐世保、厳原)における過去の実際の最高潮位は、いずれも9月の台風によるもので、最高潮位と推算潮位との差が70~100cmに達することもありましたので、実際の潮位は気象等の影響で推算潮位よりも高くなり得ることに留意してください。

なお、管内(門司、博多、大分、佐世保、厳原)における潮位変化を示した図表を別添として添付します。

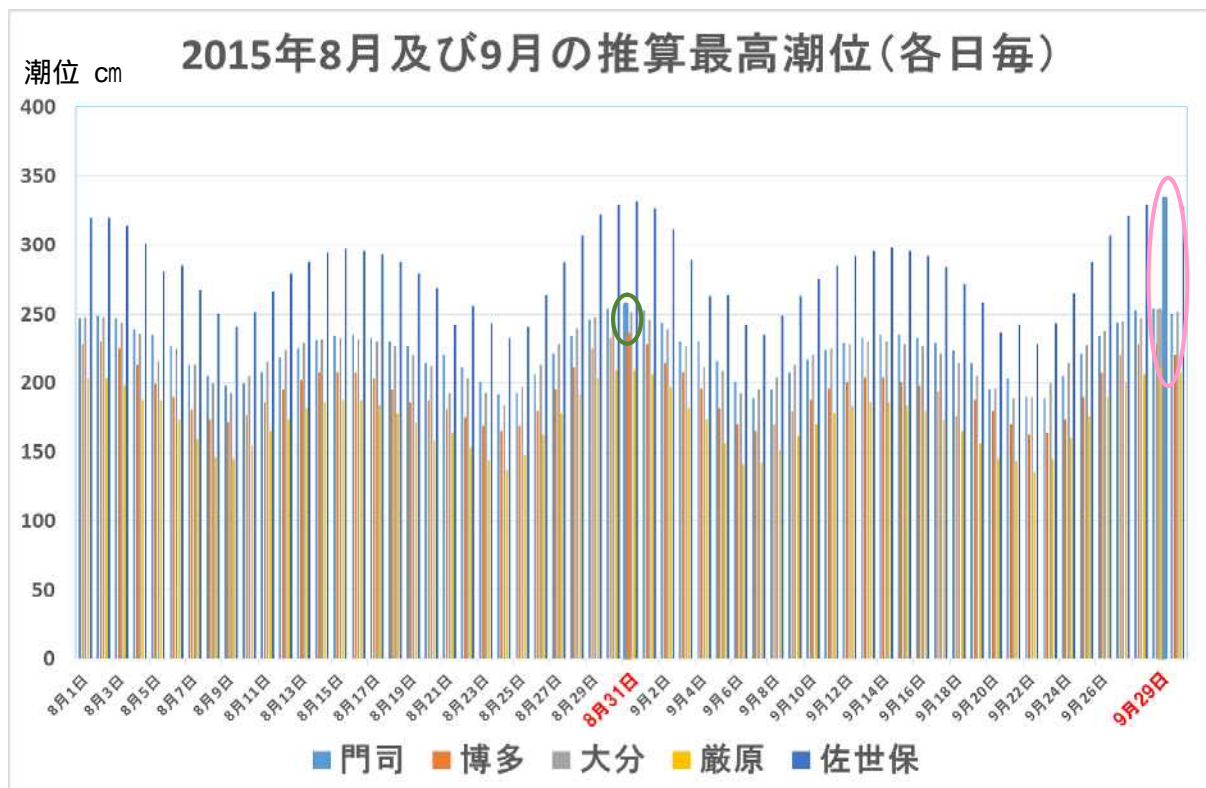
さらに、第七管区海上保安本部のホームページでは、管内の所管験潮所などの潮位情報をリアルタイムでご覧になれます。

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/top.htm>





潮位は、最低水面からの高さです。

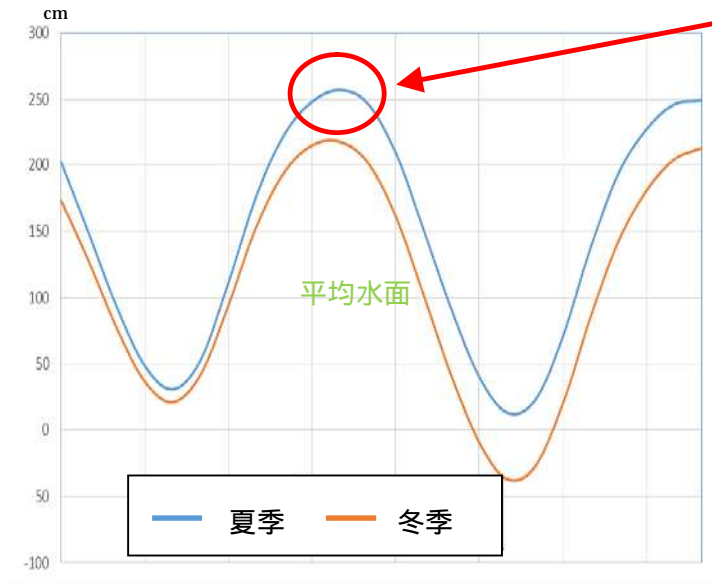


○ : 門司・博多の推算最高潮位

○ : 佐世保・大分・厳原の推算最高潮位

高潮位の危険性について

下図は、門司の1日の潮位の変化を示しています。(青線は夏季、黄線は冬季)



門司の今年の推算最高潮位

左図のとおり、冬季の潮位変動と比べて、夏季の潮位が高くなります。この時期、大潮の満潮時に台風や低気圧が接近すれば、さらに潮位は上昇し、冠水や浸水に遭う恐れが生じます。

海水上昇前

鹿児島県山川港



海水上昇後



神戸港

